

CIK-FIA 世界カート選手権 鈴鹿サーキットで初開催！



4輪モータースポーツの原点であるレーシングカート。
アイルトン・セナ選手をはじめ、多くのF1ドライバーがカートキャリアの出発点としており、現在も世界中の若者が頂点目指してしのぎを削っています。
鈴鹿サーキットでは昨年まで世界最高峰のカートレース「ワールドカップカートレース」を開催。ヤルノ・トゥルーリ、フェルナンド・アロンソ、ジェンソン・バトンらそうそうたる顔ぶれが鈴鹿サーキット国際南コースを疾走しました。
そして今年から「ワールドカップ」は「世界選手権シリーズ」へと一新され、文字どおり国内外のトップチーム・選手が一堂に会してカート世界の座を競います。

*写真は2010年のワールドカップのもようです

開催概要

2011 CIK-FIA 世界カート選手権

- 開催日：11月10日(木)～13日(日)
- 会場：鈴鹿サーキット 国際南コース(一周 1.264km)
- 公認：国際カート委員会(CIK)
国際自動車連盟(FIA)
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)

FA-KART VICTORY KF-1 仕様 (世界カート選手権 出場マシン)

シャシー FA-KART
エンジン VORTEX RAD 2011(39馬力)
タイヤ BRIDGESTONE

F1ドライバー フェルナンド・アロンソの頭文字が冠せられたレーシングカート最上級クラスのマシン。130km/h以上の最高速をたたき出し、鈴鹿サーキット国際南コースを最速のラップタイムで駆け抜ける。

展示マシン協力：ハラダカートサービス(住吉町)
www.haradakart.co.jp/